



平成29年3月1日  
北町保育園

「☆～ ぶどう組さん卒園おめでとう！ ～☆」

10日（金）は、ぶどう組さん24名の卒園式です。一人ひとりの子どもが入園したのは0歳児から4名、1歳児から11名、2歳児から8名、3歳児から1名です。

3～6年間の保育園の楽しい思い出を胸に小学校という新しい世界に飛び立ちます。友だちと一緒に過ごした毎日は楽しいこともあれば、少し悲しい思いになったこともあるでしょう。過ぎ去ってみれば、保育園での生活もあっという間に思えます。小学校は、まるで違う世界ですが、ぶどう組のみんなが喜びと期待を胸に元気に通ってくれることを願っています。

みんなの憧れのぶどう組さん。たくさんの素敵な思い出をありがとう！小学校に行ってもがんばってね。

保護者の方々、毎日の送迎ご苦労様でした。これからは自分の足で学校や学童クラブに通います。不安もあるかと思いますが、いつまでも我が子の最強の味方でいてくださいね。

今年も年度末の懇談会は「親子で遊ぶ会」を企画しました。発表会形式で手遊びや歌を披露したり、集団遊びやミニ運動会をしたり、小麦粉粘土作りやグループ懇談会など笑い声が絶えない懇談会になりました。

子どもたちの一年間の成長を確かめ合えたとても素敵な会になりました。ご参加ありがとうございました。

さて、各クラスの進級への準備が卒園式終了後から始まります。1・4歳児以外の4クラスは部屋移動がありますが、移行に関する詳細につきましては各クラスよりお知らせしますので必ず目を通してください。進級は子どもたちにとって大きな喜びですが、環境が変わるといふ事では不安な姿を見せることもあります。

子どもの安定を第一に考えて移行を進めていきますが、お子さんの様子で何か心配なことがありましたら、担任までお知らせください。



☆ 3月の行事予定 ☆



日	月	火	水	木	金	土
			1 卒園式 リハーサル	2 全体内科健診	3 荒馬引継ぎ式 誕生会	4 懇談会 (0歳)
5 	6 保育時間面接 (保険証コピー 母子手帳)	7	8	9	10 卒園式 	11 新入園児 説明会
12 	13 5歳学校訪問 (四小)	14	15 避難訓練	16 0歳内科健診	17 吉祥寺ホーム (5歳)	18
19 	20 春分の日 	21	22	23 進級式 0歳内科健診	24	25 新年度 準備日
26 	27	28	29	30	31	

# 平成28年度 北町保育園事業報告書



平成29年3月1日

公益財団法人武蔵野市子ども協会 北町保育園

西川 浩美

28年度は、子ども128名(定員)で保育がスタートしました。今年度は特に兄弟が別園に通う家庭が多くあり、より保護者の心に寄り添った家庭支援をすることを心掛けてきました。大きな事故もなく、保護者の皆さまとの信頼関係を基盤に子どもたちにとって充実した毎日を保障できたと思います。

この一年間の保育園運営を振り返り、報告いたします。

## <生活力を育てることが主体性につながる>

園では、「毎日の生活を丁寧に積み重ねること」を基本に保育を進めています。見学者や実習生、保育参観の方々子どもたちの姿を見て、生活習慣(食事・着脱・排泄等)の自立度に驚きますが、0歳児から「一人ひとりの力を見極めて、適切な援助をしていく」と所作は身につけていきますが丁寧に意味を伝え、「一人でできることはやり切らせ、自信をつけていくこと」が次のステップに進む原動力になるのです。

幼児組になると集団遊びや当番活動に取り組みますが、「みんなのために仲間と協力することやスムーズに進めていくためにはどうしたらいいか」と考えることが必要になってきます。生活や遊びの様々な場面で「集団の中で自己コントロールする力」を育てていますが、就学前につけたい力の一つになります。

個々と集団の姿を見極めて必要な支援を考え、環境を整えていくことは、子どもが持てる力を発揮しながら、生活を主体性に送り、好きな遊びを存分に遊びこめる姿に繋がります。

引き続き、子どもの発達を学びながら系統立てた保育を進めていきたいと思っています。

## <体のコントロールと心のコントロールの関連性>

天気のいい日は積極的に園庭や散歩に行き、戸外で体を動かして活動してきました。

園庭では乳児用・幼児用の複合遊具と砂場、三角山・鉄棒・ポール・フープ等の様々な遊具だけでなく、縄跳びや集団遊びで異年齢交流をしながら楽しむことでルールを守って遊ぶことも学んでいます。

またタイヤをすのこやお風呂マットと組み合わせて、家や車などに見立てることで、友だちとイメージを共有しながら遊びを広げている姿もあります。

運動会後はリレーや荒馬ごっこ、ホールやおひさまルームでバルーンが大流行して、「自分もお兄さんお姉さんのようにやってみたい!」と少し難しいことに挑戦しようとする意欲を感じました。

ここ数年、姿勢の保持ができない子や足腰の弱さのある子が多いように感じます。しっかりと自分の体を支える足腰があってこそ、細やかな手先の動きができるのです。

また、「走る・止まる・ゆっくり動く・向きを変える」というように体をコントロールするためには、自分の体の動きを自分の感覚でわかること(ボディーイメージ)が必要です。特に「止まる」「ゆっくり動く」ためには、脳を使って指令を出して体をコントロールするので難易度が高いのですが、日常的に行っている「リズム」は楽しみながら自然にしなやかな動きが身につけていけるので大事な活動です。

静と動の活動を保育の中で緩急をつけて取り入れながら、心と体を育てていきたいと思っています。

## <みんなが居心地よく楽しい保育園>

「子どもも保護者も職員も保育園に入るとホッとすると」という思いを持ってもらえるような園作りを目指してきました。今年度も利用者アンケートに様々なご意見や感想をいただきましたので、検討しながら29年度の園運営に活かしていきたいと思っています。

そして、今年も父母会の役員の方々や父母会運営や行事運営について様々な話し合いを行い交流してきました。父母会活動には様々なご意見もありますが、忙しい日々の中で「子どもが喜び、楽しめるようにしたい!」という温かい思いで活動されている姿に毎年感動しています。これからもバックアップしていきたいと思っています。

保護者の皆様には一年間ご協力いただきありがとうございました。

